

JIS

鉄鉱石—アルミニウム定量方法

JIS M 8220-1995

(2005 確認)

平成7年9月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 28. 3. 28 改正：平成 7. 9. 1

官 報 公 示：平成 7. 9. 4

原案作成協力者：社団法人 日本鉄鋼連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会（部会長 福原 元一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鉄鉱石—アルミニウム定量方法

M 8220-1995

Iron ores—Methods for determination of aluminium content

1. 適用範囲 この規格は、鉄鉱石中のアルミニウム定量方法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 6830 : 1986 Iron ores—Determination of aluminium content—EDTA titrimetric method

ISO 4688-1 : 1992 Iron ores—Determination of aluminium content—Part 1 : Flame atomic absorption spectrometric method

2. 定量方法の区分 アルミニウムの定量方法は、次のいずれかによる。

(1) EDTA滴定法[国際一致規格(ISO 6830)] この方法は、アルミニウム含有率0.25 % (m/m)以上5.0 % (m/m)以下の試料に適用するもので、附属書1による。

(2) 原子吸光法[国際一致規格(ISO 4688-1)] この方法は、アルミニウム含有率0.1 % (m/m)以上5.0 % (m/m)以下の試料に適用するもので、附属書2による。